



# 知っていましたか?校章のこと

## 校章と葵紋

掛川小学校の校章はフタバアオいの葉が三枚組み合わされた形になっています。フタバアオイが校章に使われているのは、学校近くの応夢山には徳川義直公（頼の勘子）の廟所があり学校をとりまく地域がかつては徳川家より定光寺に寄進された寺領であったことなど徳川家とゆかりが深いことを意味しています。



葵紋のデザインに使われているフタバアオイ

校章は、はじめは右上のようなデザインでした。外側に丸い囲み枠がないこと以外はあまりにも徳川家の葵の紋に似ているというので大正13年、当時の本多校長により現在の形に改められたそうです。かつては校章をかたどった真鍮製の記章を男子は帽章として、女子は胸章として使っていました。

## そっくりな校章

ところで、校章の中の文字は別として、周りのデザインがうりふたつの校章をもつ学校がほかにもあることがわかりました。愛知教育大学附属岡崎小学校（岡崎市）とそのほかの附属校です。

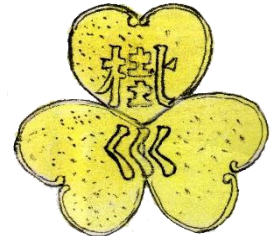
岡崎市は徳川家康の生誕地として知



愛知教育大学附属岡崎小・中学校校章 同 附属養護学校校章



現校章



旧校章

旧校章の図（右）は下半田川町水野哲氏著「勸学夜明け前」より旧校章は掛の文字が木偏になっている。



児童に配られた記章（原寸大）



徳川家の家紋（葵紋）

られ、徳川家と密接な関係があることから、葵の紋に使われているフタバアオイがデザインされているのはうなずけます。しかし、葉のあしらい方が掛川小学校と申し合わせたように同じというのは非常に興味あるところです。

このことについて附属岡崎小学校に尋ねてみました。校章は愛知教育大学の前身の一つである愛知県第二師範学校の付属小学校時代（大正期）に制定されたようですが掛川小学校との関係については残念ながら分かりませんでした。デザインはただ単に偶然の一致だったのででしょうか。掛川小学校で校章のデザインが検討された当時の校長が師範学校卒であり、附属校の校章を参考にしたのかもしれませんが。